

安全なリモート接続 — あらゆる場所からのアクセスと、あらゆるアプリケーションへの対応

IP Security (IPSec) VPN は、リモートの作業場所からほぼすべてのデータ、音声、および映像アプリケーションへのアクセスを可能にすることで、リモート ユーザにとって最も強力なリモート アクセス環境を実現します。ユーザは、リモート システム上の IPSec VPN クライアント ソフトウェアを使用することにより、アプリケーションサーバへ簡単にアクセスでき、業務システムが完全に動作するため、オフィス環境とまったく変わらない操作性とワークフローに基づいて作業を進めることができます。リモート ユーザは、IPSec VPN を利用することで最も幅広いレベルのネットワーク アクセスを行えるため、オフィスの生産性をほとんどすべての場所にまで拡張することができます。IPSec VPN がホーム オフィス、移動の多い従業員、リモート ワーカー、およびリモート ワーカーの接続方式としてデファクト スタンダードになった背景には、この「あらゆるアプリケーションへの対応」があります。



Secure Sockets Layer (SSL) ベースの VPN は、Web ブラウザとブラウザ内蔵の SSL 暗号化機能を利用して、インターネット接続が可能なあらゆる場所からのリモート アクセスを可能にする新しいテクノロジーです。IPSec VPN と比較するとアプリケーションへのアクセスにやや制約がありますが、SSL ベース VPN でアクセスできる一般的なソフトウェア アプリケーションの種類は着実に増え続けています。SSL ベース VPN の場合は、固有の GUI ではなく Web ブラウザ インターフェイスを通じてアプリケーションが提供されるため、ユーザのワークフローを変更する必要はほとんどありません。一般に、クライアント / サーバアプリケーションをサポートするには、リモート システムへ動的にダウンロードされる特殊な（場合によってはブラウザに依存する）アプレットが必要になります。接続に Web テクノロジーを利用するため、特別なデスクトップ ソフトウェアをインストールしなくても、インターネットに接続されたほぼすべてのシステムからアクセスすることができます。現在、SSL ベース VPN は、特定のアプリケーションにアクセスする必要があるユーザがリモート アクセスを行うためのオプションとして注目を集めています。



アクセス環境やアクセス要件によっては、SSL ベース VPN と IPSec VPN の両方のテクノロジーを利用して、ユーザ コミュニティを相互接続することが可能であると Cisco® では考えています。このようなご要望にお応えするために、シスコでは、広範囲に展開された弊社の IPSec VPN インフラストラクチャおよび製品を活用して、SSL ベース VPN サービスも提供しています。この戦略では、既存のインフラストラクチャを利用するため、展開や管理が容易になるだけでなく、お客様がすでに導入されている VPN 関連機器への投資を保護することもできます。この機能が最初に導入された製品は、Cisco VPN 3000 コンセントレータであり OS 4.1 よりご提供しております。

©2003 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco ロゴは米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc. の商標または登録商標です。
この文書で説明した商品、サービスはすべて、それぞれの所有者の商標、サービスマーク、登録商標、登録サービスマークです。
この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL: <http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-6655-4433

電話でのお問合せは、以下の時間帯で受け付けております。

平日 10:00 ~ 12:00 および 13:00 ~ 17:00

お問い合わせ先